

# サイ・テラ 知と技の発信

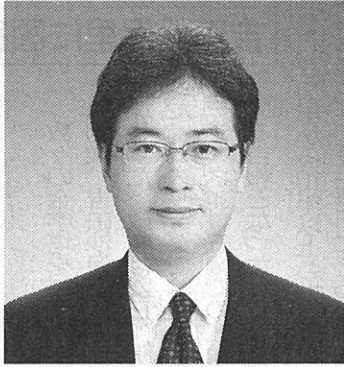
【92】

## 埼玉大学・理工学研究の現場

### ■14日間でわかる

1年ほど前、「14日間でわかる代数幾何学事始」という本を日本評論社から出版した。私の専門とする「代数幾何学」という数学の一分野の入門部分を解説したものである。

代数幾何学は、式と図形の関係を論ずる学問である。与えられた多項式の値が0となる点全体のなす図形を幾何学的に調べたり、図形の定義式の代数的な性質を研究したりするので、それは高校数学の延長線上にある。



海老原 円氏 (えびら うえん) 62年生  
 元ひ生院攻理部部月数形14何  
 氏)学大士博理学7代線「数幾  
 (か)学大士博理学7代線「数幾  
 ど)科数大士博理学7代線「数幾  
 東)大科数大士博理学7代線「数幾  
 原)系研修院玉て、専書「数幾  
 海)学課程習埼経職。著学「数幾  
 老)士)手師の現学(数)わか  
 海)ま理修学助講よ幾代日  
 老)はま理修学助講よ幾代日

# 埼玉経済

## 代数幾何学に王道なし

海老原 円 大学院理工学研究科 准教授

ともいえるが、実際のところは非常に奥が深く、応用範囲も広い。たとえば、「誤り訂正符号」や暗号の理論などにも代数幾何学が顔を出す。

### ■ユークリッドの言葉

私の本では、「14日間でわかる講義」という形で初歩的な解説を試みた。数学書ではあるが、短歌や俳句などのパロディーを随所に散りばめ、楽しく読めるように工夫してみた。

一冊の本を読むのに「14日間」は短すぎると思われるかもしれない。しかし、調べてみると、現在出版されている数学啓蒙書の多くには、そのタイトルに、「14時間でマスター」「8時間でなっとく」「3時間で大体わかる」といった類の惹句(じじゃく)が並んでいる。「14日間」と比べて桁違いに短い。どうも世の中せつちかちになってきてい

る。具体的には、代数的集合とイデアルとの間の対応関係を述べ、多項式環の剰余環の幾何学的な意味を説明し、ザリスキの位相に言及し、環の局所化との関連を論じている。

最近では、科学に対して、産業への応用や地域社会への還元のみを、ことさらに要求する人々も、科学の直接的な恩恵だけを期待するという点では、こわい。一冊の本に精神を集中するのは、たやすいことではないが、そうした未来の読者に、私はいかにしてエールを送りたい。日々、代数幾何学に王道なし、

■普遍的な真理  
 科学を語る以上は、「地域」や「経済」を越えた普遍的な真理を視界にとらえていなくてはならない。

そのような真理の一端を、私本欄は埼玉大学で行われている研究を紹介しています。

### 【編集者からのお知らせ】

企業、団体商店街などの話題や情報をお寄せ下さい  
 TEL 048・795・9161 FAX 048・653・9040